

2023年12月11日
西日本旅客鉄道株式会社

広島駅ビル建替え工事「魅せる仮囲い」第5弾の実施について

JR広島駅では、広島駅ビル建替工事において設置されている工事用仮囲いを、「HIROSHIMA CONNECTING WALL (ヒロシマコネクティングウォール)」と題し、“魅せる仮囲い”として活用した取り組みを進めております。これまで広島の魅力を発信すべく様々なテーマで装飾を行ってまいりましたが、この度第5弾として「ものづくり広島、その成り立ち」をテーマにした装飾を行います。

1. 本取り組みについて

(1) 内容

中四国エリアNo.1の工業出荷額を誇る広島、発展を遂げてきた過程とともに「ものづくり広島」の魅力を紹介します。

広島は戦時体制下の戦時体制により大きく被害を受けた一方、その過程で培われた技術力は継承され、広島を発展を支えてきました。満身創痍で立ち上がり、再び広島という地に命を吹き込み続けてきた「ものづくり広島」のたくましさ、その成り立ちには是非触れてください。



(2) 掲出イメージ（一例）

・広島におけるものづくりの原点ともいえる手工業分野の一部を紹介します。



・産業革命以降、急速に発展した機械工業の歴史を時代背景も踏まえつつ紹介します。



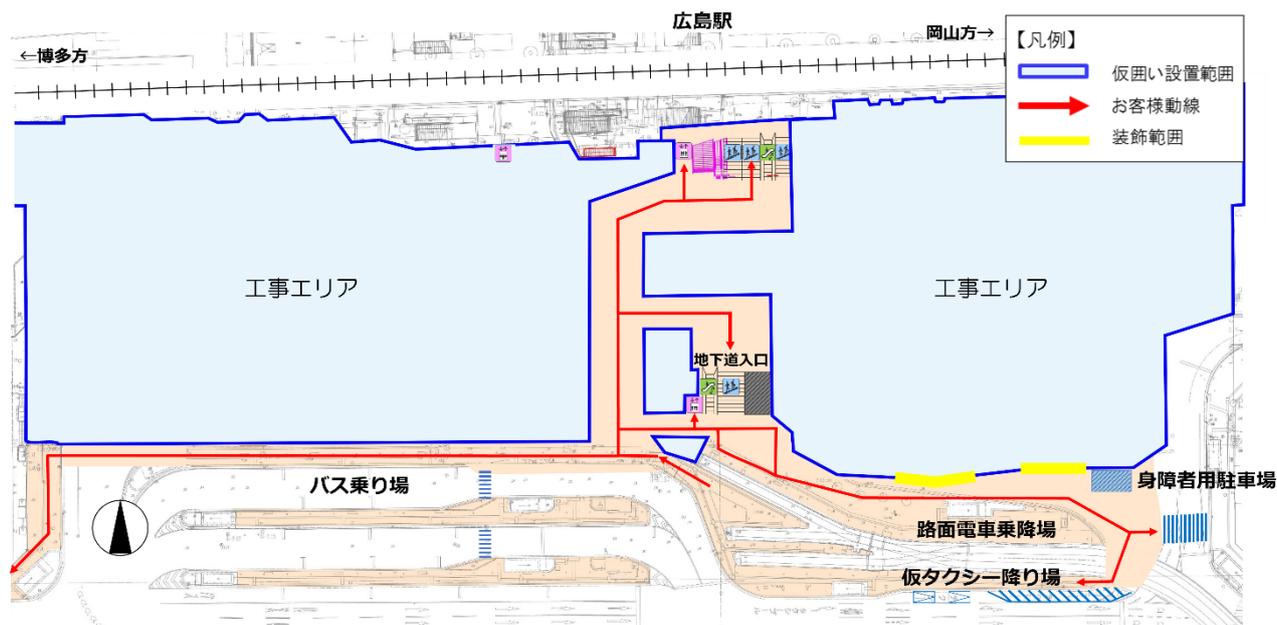
(3) 掲出概要

【掲出面積、位置】

- ・全体の掲出面積は、約 72 ㎡（高さ 2.4m × 幅約 30m）です。
- ・掲出位置は、下図黄色線をご参照ください。

【掲出期間】

- ・2023年12月16日（土）～2024年2月中旬ごろ
- ※工事の進捗により掲出期間に変更の可能性があります。



今回の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に9番、17番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



別紙

<本取り組みの全体概要>

(1) 取り組みの目的

工事用仮囲いという本来無機質な壁に装飾を行い、広島への誇りや魅力、それを生み出したDNAをストーリーにして発信していくことで、コミュニケーションの場へと変えていき、国際平和文化都市“HIROSHIMA”の玄関口を彩っていくことを目的としています。

(2) 魅せる仮囲いのメインコンセプト

「HIROSHIMA CONNECTING WALL」

このコンセプトは、広島駅が広島の玄関口にふさわしい新たな賑わいや交流、感動を創出する施設となることを目指し、工事期間中においても地域の皆さまと一体となり街の活気をつくりあげていくために、無機質な壁である工事用仮囲いを活用し、「まち」「ひと」「とき」をつなぐ(CONNECT) コミュニケーションの場へと変えていくという想いを込めています。



(3) 実施期間

2020年7月～2025年頃（工事用仮囲いの切替に伴い実施予定）

(4) これまでの取り組み

- ・ 第1弾：「HIROSHIMA PRIDE（ヒロシマプライド）」（2020年7月10日～2021年2月頃）
1945年の原爆投下後、「75年は草木が生えない」と言われた広島の現在に至るまでの力強い復興の歴史と人々の歩みを発信
- ・ 第2弾：「広島酒」(2020年11月20日～2021年5月頃)
全国的にも酒処として名高い広島が持つ風土や歴史が培ってきた日本酒造りのストーリーや長年広島酒を支えてきた造り人（杜氏）の想いを紹介
- ・ 第3弾：「広島スポーツ」(2022年1月29日～同年6月頃)
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、スポーツに関わる機会が奪われつつある中でも、改めてスポーツに触れる喜びを感じて頂き、日々スポーツに励む人を紹介
- ・ 第4弾：「広島を食べよう」(2022年11月27日～2023年6月頃)
海と山に囲まれた地形により、魅力的な食文化を形成している広島。世界情勢の変化から食の問題が顕在化している昨今において、生産者の想いや生産地の風景の紹介